

学校沿革の概要

明治	6 年	4月	高寺、田谷、二子町小学校開校
33 年	12月		川西尋常小学校開校
41 年	4月		高寺、田谷、二子町、川西を統合し愛宕尋常小学校を創設
43 年	4月		高等科を併置し、愛宕尋常高等小学校と称す
大正	15 年	6月	校舎改築
昭和	2 年	5月	青い目の人形「プレゼント・サンシャイン」がアメリカより寄贈
5 年	5月		校歌制定(開校20周年記念事業として※明治43年起源))
16 年	4月		勅令148号により、愛宕国民学校となる
22 年	4月		学制改革により、愛宕小学校となる
28 年	4月		校章制定
30 年	2月		町村合併により、江刺町立愛宕小学校となる
33 年	11月		市制施行により、江刺市立愛宕小学校となる
35 年	3月		創立50周年記念式典を挙(※明治43年起源)
39 年	7月		学校統合により、二子町、川西分校を廃止(分教室として使用)
40 年	2月		統合による新校舎落成式を挙(現在地:旧愛宕中学校跡地)
42 年	5月		旧愛宕中学校から講堂を移転落成
49 年	11月		創立100周年記念式典挙、学校園造成(※明治6年起源)
53 年	7月		屋内体育館落成
平成	60 年	8月	岩手県造形教育研究大会会場(図工授業公開)
6 年	5月		愛小太鼓完備(太鼓34、衣装20)
7 年	4月		情緒障害児学級開設
13 年	4月		知的障害児学級開設
15 年	11月		新校舎竣工
16 年	5月		新校舎落成記念式典挙行
	10月		掲揚塔設置、「新おっこ(イチイ)の木」栽植(同窓会寄贈による)
18 年	2月		市町村合併により、校名が奥州市立江刺愛宕小学校となる
	3月		新プールが完成、付帯工事で校門・校庭・駐車場等が整備される
20 年	4月		「いわて型コミュニティスクール事業」の指定
22 年	10月		奥州市教育委員会指定教育実践研究会国語科授業公開
23 年	11月		岩手県理科研究大会胆江地区大会 5・6年理科授業公開
26 年	4月		小学校外国語活動研究推進校指定(3ヶ年)
28 年	4月		奥州市教育委員会研究指定(生活科・社会科)
	11月		授業力アップ研修外国語活動(5年、熊谷学級授業提供)
29 年	3月		時鐘(明治43年寄贈)を職員玄関脇に設置
	7月		有馬暁山氏揮毫「地霊人傑」を多目的ホールに掲額

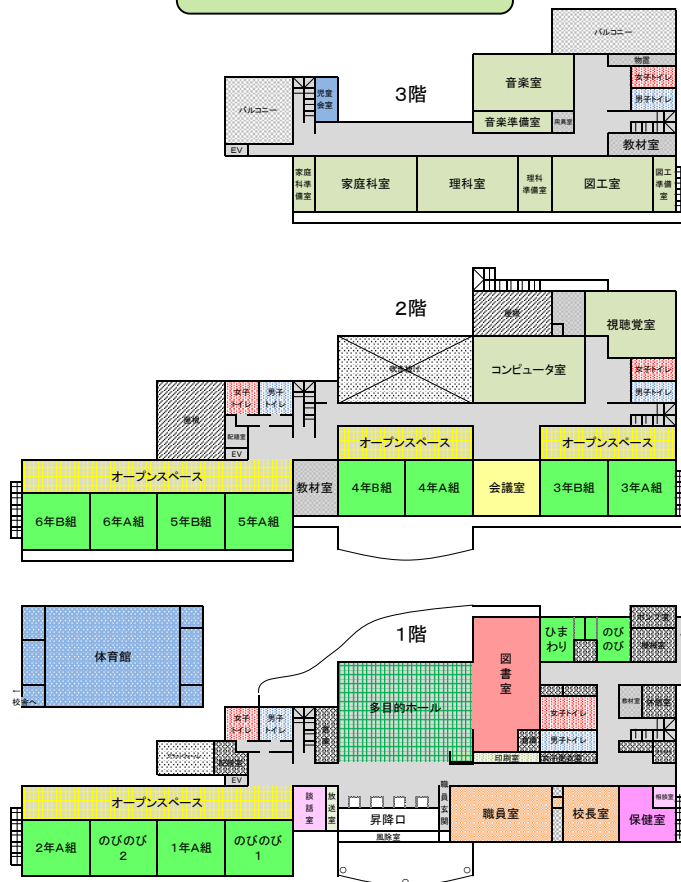
生活時程表

活動	通常時程	短縮時程
朝活動	8:15 ~ 8:30	
朝の会	8:30 ~ 8:40	8:15 ~ 8:25
1校時	8:40 ~ 9:25	8:25 ~ 9:05
2校時	9:30 ~ 10:15	9:10 ~ 9:50
業間休み	10:15 ~ 10:35	9:50 ~ 10:05
3校時	10:40 ~ 11:25	10:10 ~ 10:50
4校時	11:30 ~ 12:15	10:55 ~ 11:35
給食	12:15 ~ 13:00	
昼休み	13:00 ~ 13:25	
掃除	13:30 ~ 13:50	11:40 ~ 11:55
5校時	13:55 ~ 14:40	
帰りの会	14:40 ~ 14:55	12:00 ~ 12:10
6校時	14:55 ~ 15:40	
下校	16:30(夏季)/16:10(冬季)	

教職員構成

職 名	氏 名	校務・担任等
校 長	佐々木 孝義	
副校長	大森 龍弘	総 務
主 査	高橋 琢也	事 務
教 諭	佐竹 良隆	教務主任
講 師	藤田 君夫	ひまわりA
教 諭	石川 玲子	知育主任 1-A
教 諭	高橋 弘子	保健主事 2-A
教 諭	渡部 英	体育主任 3-A
教 諭	佐藤 里美	特別支援 Co 3-B
教 諭	及川 早苗	生徒指導主事 4-A
教 諭	高村 日出夫	読書指導 4-B
教 諭	熊谷 瑞穂	育児休業中
教 諭	平山 友紀	現職教育 5-A
教 諭	高橋 弘美	児童会指導 5-B
教 諭	青山 武	研究主任 6-A
教 諭	高橋 由紀子	德育主任 6-B
教 諭	清水 貞美	少人数指導
養護教諭	高橋 美佳	保健指導
用務員	高橋 奈緒子	学校用務
特別支援員	前田 美喜	特別支援補助
学校司書	及川 千夏子	図書事務

校舎・教室配置



平成30年度 学 校 要 覧



青い目の人形

昭和2年、アメリカ合衆国親善大使としてニューヨークの「世界児童親善会より寄贈」



時鐘

明治43年に寄贈いただいた歴史ある時鐘で朝夕の始業、終業を知らせる



おっこの木
(イチイ)

旧校舎時代から本校のシンボル木として長く愛されてきた



お だ き 奥州市立江刺愛宕小学校

〒023-1131 岩手県奥州市江刺愛宕字西下川原 8 番地

TEL 0197(35)2061 FAX 0197(35)2189

E-mail: odakishou1@city.oshu.iwate.jp

<http://school.city.oshu.iwate.jp/esashiodaki-e/>



知

学校教育目標

- 明るくたくましい子ども
- 進んで考え、努力する子ども
- 心のゆたかな子ども

徳



在籍児童数

学 年	組	男	女	小 計	計
1	A	18	17	35	35
2	A	18	16	34	34
3	A	10	14	24	48
	B	11	13	24	
4	A	14	9	23	47
	B	14	10	24	
5	A	10	11	21	43
	B	11	11	22	
6	A	7	14	21	41
	B	7	13	20	
ひまわり		1	1	2	2
合 計		121	129	250	

主な学校行事

4月	入学式・交通安全教室・自転車テスト・授業参観日
5月	江刺甚句祭り・愛小創立記念日・運動会
6月	プール開き・修学旅行・縦割り班結成会
7月	宿泊学習・期末大掃除・東部地区水泳記録会・夏休み
8月	愛小スポーツ交流会・芸術鑑賞教室
9月	避難訓練・市陸上記録会
10月	学校公開・学習発表会・江刺音楽会・地区文化祭
11月	祖父母参観日・小中交流会・就学時健診
12月	期末大掃除・冬休み
1月	CRT検査・理科研究発表会・児童総会
2月	避難訓練・生き方指導授業参観日・6年生を送る会
3月	修了式・卒業式・春休み



体

本年度教育の重点

健やかな体 《たくましく》

- (1) 継続的な運動を通しての行動体力の向上
- (2) 健康を維持増進する防衛体力を高めるための生活習慣の形成

確かな学力《かしこく》

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の育成
- (3) 学習意欲の喚起

豊かな社会性 《やさしく》

- (1) 異学年交流活動等の多様な関わり合いを通じた社会性の育成
- (2) 社会性の基礎となる基本的生活習慣の育成

体力の向上

- ・教科体育の充実
- ・水泳、マラソン、なわ跳び等運動の奨励
- ・健康・安全な生活習慣の形成

学力向上

- ・主体的な学びのある授業実践
- ・基礎・基本の定着
- ・家庭学習の習慣化
- ・読書活動の推進
- ・校内研究体制の充実

豊かな心

- ・挨拶や後始末の徹底
- ・異学年交流活動等の特別活動の充実
- ・地域や郷土の良さに気付かせる活動

地域連携：地域に根ざし、地域の教育力を取り入れ、地域に関わった学校づくりに努め、地域に信頼される学校経営の推進

開かれた学校

- ・まなびフェストの取り組みを通じた家庭、地域との連携
- ・地域を学ぶ教育活動の展開

特別支援教育

- ・個別支援計画に基づく指導
- ・組織的な支援体制の構築
- ・関係諸機関との連携

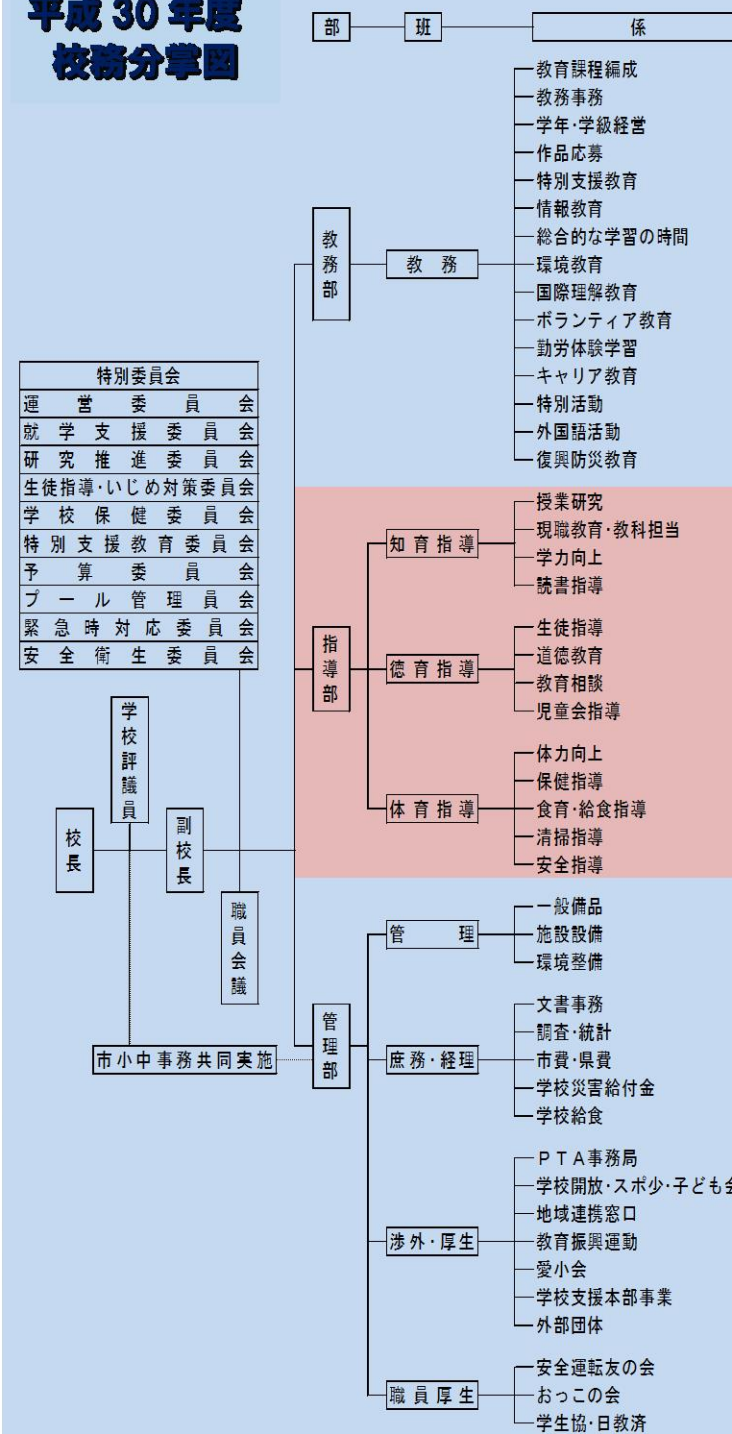
地域連携

- ・愛宕地区での多様な体験活動
- ・学校評議員による参観と評価
- ・学校ボランティアとの連携

§まなびフェスト§

	「かしこく」《知育指導》	「やさしく」《徳育指導》	「たくましく」《体育指導》
数値目標	・児童意識調査「自分の考えを発表する」・「学級の友達と話し合う活動」それぞれの肯定回答を70%以上にする。 ・漢字、計算テスト80点以上を目指す。	・自分から先生や友達にあいさつをする児童の割合を80%以上にする。 ・異学年交流活動等で仲良く協力しようとした児童の割合を90%以上にする。	・行動体力では、発達段階に応じたためあてを設定し、学年の目標達成率を70%以上にする。 ・むし歯なし、むし歯の処置完了者の割合を78%以上
取り組み	・小集団で学び合ったり、主体的に思考・表現・交流したりする場面のある授業づくり。 ・漢字、計算ドリルに向けた家庭学習の取り組み。 ・授業と連動した家庭学習	・自分から進んで先生や友達にあいさつをするように、目標を設定して取り組む。 ・縦割り班を編成し、異学年交流活動を推進する。	・水泳、持久走、縄跳び運動を検定カードで目標が達成できるように取り組む。 ・むし歯をつくらないよう身体測定時のミ二保健指導や個別ブラッシング指導 ・歯科衛生士によるブラッシング指導をする。1年親子指導・4年学級指導

平成30年度 校務分掌図



愛



